

「キャリア・スタート・ウィーク」の更なる推進に向けて

「学ぶハイム」・「働くハイム」・「生きろハイム」



平成17年11月
文部科学省



「キャリア・スタート・ウィーク」の更なる推進に向けて ～「学ぶこと」、「働くこと」、「生きること」～

「キャリア・スタート・ウィーク」とは

子どもたちの勤労観、職業観を育てるために、中学校において5日間以上の職場体験を行う学習活動です。平成17年度より、文部科学省では、厚生労働省、経済産業省等の協力を得て、全国の138の地域において本取組を開始しています。平成19年度までに全国の公立中学校約1万校において実施することを目指しており、そのためには、教職員のキャリア教育に対する共通理解はもとより、職場体験の機会の確保など社会全体、国民一人ひとりの協力が必要になります。



「なぜ、5日間なのでしょう。」

5日間の職場体験を実施することにより、子どもたちの体験や体験先との人間関係が深まるとともに、子どもたちにとって働くことの素晴らしさ、喜び、厳しさなどの理解が進むなど、様々な効果が期待されます。例えば、緊張の1日目、仕事を覚える2日目、仕事に慣れる3日目、仕事を創意工夫する4日目、感動の5日目など、時間の長さが生徒一人ひとりの心に変容を与えることが期待されます。

「キャリア・スタート・ウィーク」を実施することにより、次のような様々な効果が期待されます。

学校にとって

- ・教育活動の見直しの機会になります。
- ・教員の意識改革を進めることができます。
- ・保護者や地域に対するキャリア教育の理解を促進することができます。

教職員にとって

- ・職業に対する理解を深めることができます。
- ・生徒の多様な個性を理解し、深めることができます。
- ・地域や事業所等への理解を深めることができます。

生徒にとって

- ・自己の理解を深め、新たな自分を発見することができます。
- ・学校の学習と職業との関係についての理解を深め、学習に対する意欲を向上させることができます。
- ・異世代とのコミュニケーション能力の向上が図れます。
- ・社会生活上のルールやマナーを体得することができます。
- ・地域や事業所に対する理解を深め、地域への愛着や誇りをもつことができます。

このようなことにより、勤労観、職業観を身に付けることができます。

家庭にとって

- ・家族の役割を再認識できます。
- ・キャリア教育に対する理解を深めるとともに、家族の会話を促進することができます。

保護者にとって

- ・子どもたちの働く姿から、新たな一面を発見することができます。
- ・学校でのキャリア教育の具体的な取組を理解することができます。

地域にとって

- ・子どもたちや地域への理解を深めることができます。
- ・地域を活性化することができます。
- ・地域が一体となって子どもたちを育てていこうとする気運を高めることができます。

事業所にとって

- ・次代を担う人材を育成することができます。
- ・企業の社会的役割を具現化し、企業価値を高めることができます。
- ・職場を活性化し、違った側面での社員教育にもなります。

このような意義深い「キャリア・スタート・ウィーク」を全国展開することとしておりますが、既に県内全ての公立中学校で5日間の職場体験等の取組を行っている兵庫県の「地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」」と富山県の「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」を紹介いたします。

◇兵庫県の「地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」」(平成10年度～)

目的 地域に学び、共に生きる心や感謝の心を育み、自立性を高めるなど、学校では体験できない様々な活動に挑戦し、「生きる力」を育成する。



◇富山県の「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」(平成11年度～(平成13年度:県内全校で実施))

目的

- ・ 困難に直面しても、夢や希望をもって積極的に立ち向かっていく心と態度を育てる。
- ・ 自らを律しつつ、周りの人と協調し、相手を思いやる心や感謝する心を育てる。
- ・ 社会生活を営む上での規範意識を高める。



兵庫県や富山県の子な体験活動の内容

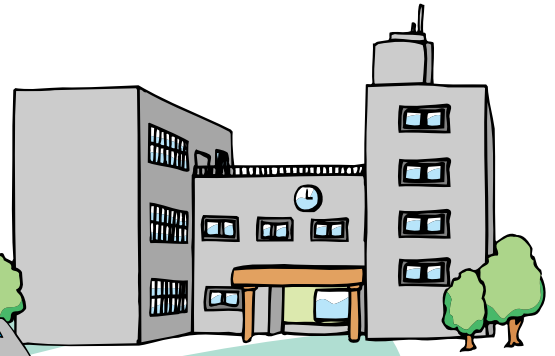
地域の農家、商店、福祉施設、公共施設等で多種多様な受入先において、地域のボランティアの指導のもと、下記のような多様な体験活動を実施しています。

- ・ 勤労生産活動：農業、酪農、漁業、林業等の活動
- ・ 職業体験活動：地域のいろいろな職場での体験活動
- ・ 文化・芸術創作活動：絵画や音楽等の活動、地域・郷土芸能活動
- ・ ボランティア活動・福祉体験活動：地域でのボランティア活動、福祉施設等での活動 等

5日間の職場体験を体験した生徒、受け入れた企業や事業所、保護者、学校の教職員からは以下のような声が聞かれています。

■ 教職員

- ・生徒が企業や事業所で生き生き働く姿が見られた。認めてもらうことで積極性が出てきた。
- ・各受入先を巡回訪問し、企業や事業所との交流を通じ、見識見聞が広がり、地域との連携の必要性、生徒観・教育観等の意識改革の契機となっている。
- ・事前指導における意識付けの徹底、事後指導における今後の学習への継続性の強化を図りたい。

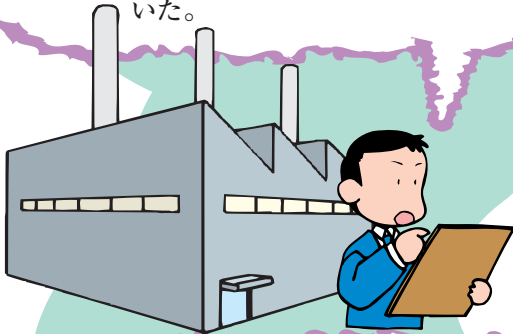


■ 生徒

- ・はじめは自分のことをこなすだけで、精一杯で大変な思いをただけであったが、2日目、3日目と日を追う毎に自分から進んで働くようになったり、人の役に立つことでうれしさや喜びを感じ、自分自身が大きくなったと感じた。
- ・働くということは社会に貢献するという意味を持っていたことに気づいた。
- ・今まで将来のことを考えていなかったけれど、少しは考えてみないといけないと思った。どんな職業を目指すのか考える機会になった。

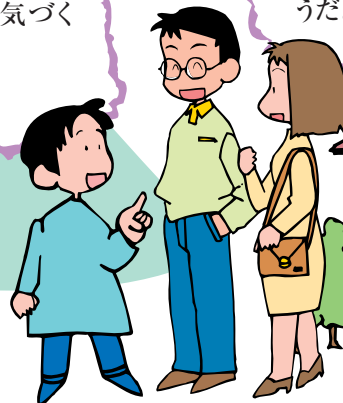
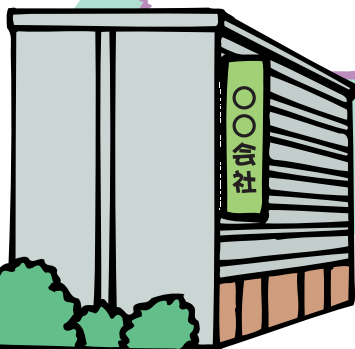
■ 生徒を受け入れた企業や事業所

- ・子どもたちは3日目から変わる。3日目には1日目、2日目の経験から自分で仕事を始める。そこで、次の段階に進み、難しいことをするようになり自信をつけていた。また、そのことでやり遂げた達成感を味わっていた。



■ 生徒を受け入れた企業や事業所

- ・子どもたちは可能性があり、その可能性を周りの大人たちで応援することが大切であると感じた。
- ・子どもたちを迎えることで、職場が活気づくなど従業員も勉強になった。



■ 保護者

- ・家では頼りなく感じていた子どもが、大きな声を出し、生き生き働いている姿を見て感動した。
- ・帰宅すると、目を輝かせて「今日はこんなことをしたよ」と熱く語っていた。普段とは違った視点からみた世界が新鮮だったようだ。



キャリア・スタート・ウィーク・キャンペーン

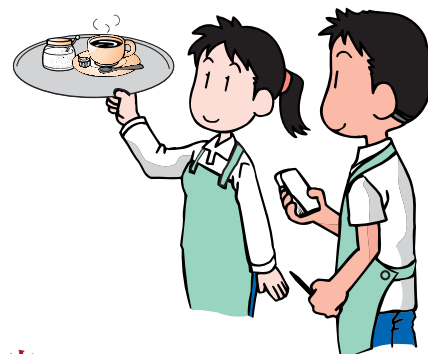
文部科学省では、平成17年11月より、関係府省、経済・教育・地方公共団体等の関係者の協力の下、「キャリア・スタート・ウィーク・キャンペーン」を開始することにより、「キャリア・スタート・ウィーク」の一層の推進を図ることとしております。

(1) キャリア・スタート・ウィーク推進連絡会議を開催

関係府省、経済・教育・地方公共団体等の関係者にご参集いただき、文部科学省がキャリア・スタート・ウィーク・キャンペーンへの協力を求めます（平成17年11月30日に東京にて開催）。

(2) 「キャリア・スタート・ウィーク」を積極的に国民に周知する運動の実施

- ① キャリア・スタート・ウィークを周知するために、国においてポスター、パンフレット（既に5日間の職場体験を組織的に実施している県の取組や5日間生徒を受け入れた企業や事業所、体験した生徒の声等を紹介する）を作成・配付します。
- ② 文部科学省のホームページにおいて、先行する取組やキャリア・スタート・ウィークに賛同する企業、事業所等を紹介します。
- ③ 各都道府県毎の職場体験の実施率を文部科学省ホームページに掲載することにより、「キャリア・スタート・ウィーク」の実施を促します。
- ④ キャリア教育推進フォーラムを開催し、「キャリア・スタート・ウィーク」の取組を紹介するとともに、特に優れた取組を行う教育委員会、学校、企業や事業所等を表彰します。



(3) 「キャリア・スタート・ウィーク推進月間（仮称）」の設定

キャリア・スタート・ウィークへの国民の積極的な参画を促し、キャリア教育の一層の推進を図るため、「キャリア・スタート・ウィーク推進月間（仮称）」を平成18年度以降の11月に設定いたします。推進月間においては、キャリア教育推進フォーラムを開催するなど、イベントを行うこととしておりますので、ご期待ください。

「推進月間」の名称及び「キャリア・スタート・ウィーク」に関する標語を広く全国の皆様から以下の要領で公募いたします。ふるってのご応募をお待ちしております。

- 応募方法** 文部科学省ホームページ「進路指導・キャリア教育について」のコーナーからご応募ください。詳細はホームページに掲載しております。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/index.htm

- 応募期限** 平成18年1月31日（火）まで

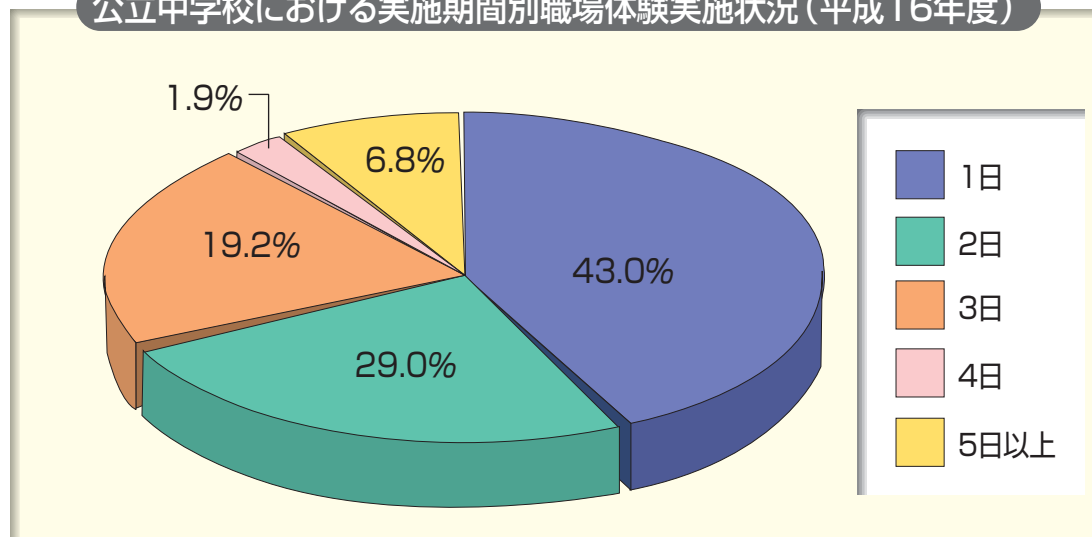
(4) 「キャリア・スタート・ウィーク」応援団の結成

キャリア・スタート・ウィークに賛同する芸能界、スポーツ界、財界等の著名人による応援団を結成し、広報（ポスター、パンフレット）等の協力により国民意識の醸成を図ります。応援団については、今後、ホームページ等で公表していく予定です。

このほか、文部科学省では「キャリア・スタート・ウィーク」を一層推進するために、「中学校職場体験ガイド」を作成します。なお、中学校職場体験ガイドについては、文部科学省のホームページ(http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/index.htm)からダウンロードすることが可能となる予定です。

なお、キャリア・スタート・ウィーク・キャンペーンは文部科学省が主催として行い、内閣府、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、社団法人日本経済団体連合会、社団法人経済同友会、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、社団法人日本青年会議所、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国都道府県教育長協議会、全国市町村教育委員会連合会、指定都市教育委員・教育長協議会、全国都市教育長協議会、全国町村教育長会、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、社団法人日本PTA全国協議会、社団法人全国高等学校PTA連合会にご後援いただいております。

公立中学校における実施期間別職場体験実施状況（平成16年度）



初等中等教育段階におけるキャリア教育に関するお問い合わせ先

文部科学省初等中等教育局児童生徒課指導調査係
〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1
TEL: 03-5253-4111 (内線 2390)
メールアドレス: jidou@mext.go.jp

キャリア教育に関する詳細の情報は、以下のホームページをご参照ください。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/index.htm